

## 松島 泰勝（まつしま やすかつ）

1963年琉球・石垣島生まれ。石垣島，南大東島，与那国島，沖縄島にて育つ。那覇高校，早稲田大学政治経済学部卒業後，早稲田大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。博士（経済学）。専門は島嶼経済論。在ハガッニャ（グアム）日本国総領事館，在パラオ日本国大使館において専門調査員として勤務。東海大学海洋学部准教授を経て，現在，龍谷大学経済学部教授。2007年「NPO法人ゆいまーる琉球の自治」を立ち上げ代表になり，2013年「琉球民族独立総合研究学会」の設立メンバーとして共同代表に就任。

単著として、『沖縄島嶼経済史—12世紀から現在まで』藤原書店，2002年，『琉球の「自治」』藤原書店，2006年，『ミクロネシア—小さな島々の自立への挑戦』早稲田大学出版部，2007年，『琉球独立への道—植民地主義に抗う琉球ナショナリズム』法律文化社，2012年，『琉球独立論—琉球民族のマニフェスト』バジリコ，2014年，『琉球独立—御真人の疑問にお答えします』Ryukyu企画，2014年，『琉球独立宣言—実現可能な5つの方法』講談社文庫，2015年がある。編著として西川潤・松島泰勝・本浜秀彦編『島嶼沖縄の内発的発展—経済・社会・文化』藤原書店，2010年，松島泰勝編『民際学の展開—方法論，人権，地域，環境からの視座』晃洋書房，2012年，桜井国俊・砂川かおり・仲西美佐子・松島泰勝・三輪大介編『琉球列島の環境問題—「復帰」40年・持続可能なシマ社会へ』高文研，2012年，松島泰勝編『島嶼経済とコモンズ』晃洋書房，2015年がある。